

ねらい

- 目標まで1年半となる中で、**従来からの取組を着実に実施**するとともに、2021年以降の取組方針について、2019年度～2020年度初めにかけて議論をし、方向性のある程度定めておくことで、**2021年当初からも切れ目なく取組が実施できるようにすることが重要。**
- 2019年までの取組状況や成果、それを踏まえた課題や2021年以降に取り組むべき事を整理し、**有識者よりアドバイス**をいただきながら、**2021年以降の取組の方向性を検討**する。

検討の流れ・スケジュール（案）

2019年度	9月：2021年以降の方向性の検討の流れ、主なポイントにかかる意見交換（第11回会議） ↓ 2019年までの取組状況と成果、課題の整理（テーマ別・8公園別に実施） ↓ 年度末：2021年以降の取組方針の議論①（第12回会議）	第14回以降 有識者会議 を開催予定
2020年度	春：2021年以降の取組方針の議論②（第13回会議・中間報告） ↓ プロジェクト全体の取組状況と成果とりまとめ ↓ 年度末：2021年以降の取組方針のとりまとめ 2020年目標に対する結果（訪日外国人国立公園利用者数）、最終評価	

方向性検討にあたって意見をいただきたいポイント

- **取組成果の評価指標**
 - ◆ 2021年以降、国立公園において目指すさらなる高みとは
 - ◆ 高みを目指す上での指標
- **プロジェクト推進のための枠組み**
 - ◆ 先行的、集中的に取り組んできた8公園の役割・継続して行うべきこと
 - ◆ +3公園を含めた国立公園全体で取り組むべきこと
- **2021年以降プロジェクトで追加すべきこと・取り組むべきこと**